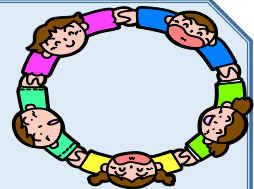


# みんなそろって 輪になって



◇本年度の重点目標 ～笑顔いっぱい～

できた！わかった！がんばった！自信がついた！

第10号 令和8年1月22日

## 3学期スタート！～「笑顔いっぱい」で 「できた」と思える毎日を～

校長 石山 輝



20 日間の冬休みが終わり、3 学期がスタートしました。今年の冬は少雪傾向かと思いきや、1 月も半ばを過ぎると徐々に積雪も多くなり、厳しい寒さの毎日となってまいりました。

さて、令和8年がスタートしました。今年の干支は「午（うま）年」です。また、60年に一度の「丙午（ひのえうま）」の年でもあります。前回の「丙午」である1966年は、江戸時代から伝わる迷信の影響で出生率が前年よりも約25%も下がったそうですが、ただでさえ少子化が進む現代では、そのようなことがないことを願うばかりです。子どもたちには、始業式の中で、「午年」と「丙午」に関わるポジティブな面を捉えて紹介しました。

今年の干支は「午（うま）年」です。「うま年」は、動物の馬の意味もありますが、元々の漢字は「午前」とか「午後」の「午」という漢字です。その「午」という漢字には、「突き当たる」という意味があるそうで、草や木などの植物がぐんぐん伸びて、一番力強い状態になることを表しているそうです。

さらに今年は、60年に1度の「丙午（ひのえうま）」という特別な年です。「丙午」と言うと、昔は、あまりよくない意味で使われていたのですが、実は、「太陽のような、とても強いエネルギーにあふれる年」という意味があるそうです。

また、動物の「馬」は、生まれたらすぐに自分の足で立ち上がり、前を向いて、力強く走り出します。その姿は、自分の力で新しいことに挑戦しようとする皆さんの姿に似ています。



そのようなことを踏まえて、今年1年、太陽のような明るい笑顔を忘れずに、自分の目標に向かって力強く駆け抜ける、そんな1年にしていきたいと思います。皆さんの活躍を、先生たちは全力で応援していきます。

3学期はあっという間です。6年生は卒業に向けた取組も多くなってきます。その他の学年も1年間のまとめとして、それぞれがやるべきことにしっかりと取り組み、3学期もまた、「笑顔いっぱい」で、色々なことが「できた」と思えるような毎日にしていきましょう。

始業式の翌日から、スキー学習も始まりました。例年通り、多くの保護者の方々に支援をいただいております。ありがとうございます。また、毎年子どもたちが楽しみにしているグラウンドでのバナナボート体験も、来週以降行われます。

3学期も多くの保護者の皆様のご支援をいただきながら、教育活動を進めていけることに改めて感謝申し上げます。

年度末学校評価結果

その1

2学期末に実施しましたアンケートにご協力いただきありがとうございました。結果の概要をお知らせします。

【評価】

肯定的評価（4+3）の合計

A 目標+1%～ B 目標-19%～目標 C 目標-39%～目標-20% D ～目標-40%

子ども像 ・ 重点	①求める子どもの姿	目標	学年末評価								教職員 達成率 評価
			子ども		教職員		保護者		地域		
			達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	
やさしい子 （徳）	1 相手の気持ちを考える	94	96	A	85	B	84	B			
	2 明るい挨拶	88	89	A	90	A	75	B	100	A	
	3 友だちと仲良くしている	97	96	B	95	B	94	B	94	B	
粘り強く学ぶ子 （知）	4 勉強がよくわかる	87	85	B	90	B	79	B			
	5 学習する習慣	82	83	A	78	B	62	C			
	6 学習や活動に臨む姿勢	77	88	A	68	B	51	C	93	A	
	7 粘り強さ	86	92	A	100	A	73	B	93	A	
	8 体験活動（体と心で感じ、学んでいく活動）	92			95	A	87	B	87	B	
	9 遊びや運動の習慣化	88	87	B	100	A	78	B	100	A	
進んで体を鍛える子 （体）	10 規則正しい生活	81	84	A	95	A	60	C	100	A	
	11 健康への意識	90	96	A	95	A	78	B			
	12 安全への意識	97	98	A	92	B	94	B	100	A	

②重点目標達成のための具体的方策												教職員 達成率 評価
1	組織マネジメント	学校運営や教育活動の改善に向けて、各分掌等がチームとして協働して取り組んでいる。	95	A								
2	カリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントの視点に基づき、教科横断的な内容の組み立て、評価と改善、地域の人的・物的な教育資源の活用ができた。	95	A								
3	学年・学級経営	子ども一人一人の変容や努力の過程を認め、励まし、自尊感情を高める働きかけを充実させた。	100	A								
4	課題解決型研修	ICT環境を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」を推進することができた。	100	A								
5		思考力・判断力・表現力を育成する授業を心掛けた。	100	A								
6	経営の基本	子どもの机上やロッカー、靴箱など学習環境の整理整頓のため統一した指導を充実させた。	100	A								
7	教育環境整備	災害時の様々な場面を想定し、十分な備えができた。	100	A								
8	危機管理	円滑な学校運営に向けた日常的な課題や要望の把握に努めた。	95	A								
9	学校事務	業務改善や時間外勤務の削減を推進することができた。	60	B								
10	業務改善	幼小・小小連携 小中一貫教育推進委員会の各部会を中心として、各校の情報共有が図られている。	95	A								
11	幼小・小小連携 小中一貫	小中一貫教育推進委員会の各部会を中心として、各校の情報共有が図られている。	95	A								
12	国際理解教育	外国語専科と共に学習過程、評価について学び、学習指導への理解を深めることができた。	90	A								
13	指導の基本	情報教育 タブレット端末を積極的に活用し、児童の情報活用能力の向上に努めた。	100	A								
14		総合的な学習の時間 学年や単元のつながりを意識した指導を行うことができた。	100	A								
15	特別支援教育	校内及び関係機関等との連携により、児童の困難さに応じた支援に努めることができた。	100	A								
16	道徳教育	自分や友達のよさを実感できる場の設定と行動を行っている。	100	A								

学校経営方針に対する教職員の  
取組自己評価

2月の行事予定											
2日（月）全校集会 下校指導（民生委員）						12日（木）園児授業体験・交流					
3日（火）下校指導（民生委員）						13日（金）たてわり班活動					
4日（水）新1年一日入学・説明会						中学校入学説明会					
PTA総務部会						18日（水）参観日（5・6年）					
5日（木）スキー（2年）						20日（金）義経会役員選挙 フッ化物洗口					
6日（金）委員会						25日（水）参観日（1・2年） 代表委員会					
9日（月）B日課 フッ化物洗口						26日（木）学校運営協議会					
10日（火）スキー（1年）						27日（金）参観日（3・4年）					

年度末学校評価結果 その2

全国学力・学習状況調査の質問紙と同内容で、全校児童が自分自身を振り返った結果（R 7 町教育行政執行方針を受けて）

③町教育行政執行の柱に関する内容		子ども	
		達成率	評価
1	自分にはよいところがある	88	A
	先生は、あなたのよいところを認めてくれている	92	A
	将来の夢や目標をもっている	90	A
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	73	B
	学校に行くのは楽しいと思う	87	A
2	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	85	A
	学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	86	A
	外国語の勉強がわかる	78	B

上川教育局等による各種調査に関わる内容

④児童特設		達成率	
		達成率	評価
1	課題の解決に向けて自分から取り組んでいる	90	A
	授業で工夫して発表している	81	A
3	算数の勉強がよくわかる	92	A

学校や家庭での取組に対する教職員と保護者による評価

⑤保護者・教職員特設		教職員		保護者	
		達成率	評価	達成率	評価
教育活動のDX化	学校は、ICTを積極的に活用し教育方針や教育活動の様子を迅速に伝えたり、児童のICT活用能力を高めている	100	A	92	A
いじめ防止	学校は、「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ問題の早期発見、解決に努めている	100	A	95	A
地域との連携	学校は、PTAや学校運営協議会と協働し、地域の教育資源を活用して教育活動を推進している	100	A	96	A
メディアとのつきあい方	ご家庭では、メディアを使用する場合約束を決め、守らせている			81	A
小中連携	学校は、小中一貫教育事業の計画に基づいた推進により、中学校への円滑な接続が図られている	100	A		

どの項目も概ね良好で、特に次の項目が高評価でした。

- ①「求める子どもの姿」から
- ・「2 明るい挨拶」（徳）「7 粘り強さ」（知）「11 健康への意識」（体）
  - ・「3 友だちと仲良くしている」（徳）、学年末は「12 安全への意識」（体）
  - ※1学期から引き続き全ての評価で達成率90%超え
  - ・「1 相手の気持ちを考える」「4 勉強がよくわかる」「7 粘り強さ」「10 規則正しい生活」
  - ※1学期よりも教職員の評価で大幅に向上
- ③「町教育行政執行の柱に関する内容」（生きがい、学びがい）
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「将来の夢や目標をもっている」
- ④「児童特設」
- ・「課題の解決に向けて自分から取り組んでいる」「算数の勉強がよくわかる」
- ⑤「保護者・教職員特設」
- ・「教育活動のDX化」「いじめ防止」「地域との連携」「小中連携」

◆文章記述より

○継続したいよさ（教職員・保護者・地域記述）

次のよさを保護者や地域の方々と共有したいと考えます。

- ・自己理解と挑戦する心
- ・友達同士を理解した集団生活
- ・明るく元気に進んで挨拶
- ・時間を意識した行動
- ・児童の見守りや支援についての様々な関係機関との情報共有
- ・挑戦させる指導
- ・農業体験の機会設定

△課題（保護者記述）

校内各担当による3学期や次年度へ向けての話し合いの際に、教職員による振り返りと同様に検討材料とさせていただきます。

- ・学年閉鎖中の過ごし方の目安
- ・バザーの売り上げ金の活用方法
- ・家庭学習の内容